

タウンミーティング議事録

1 日時

令和3年7月17日（土）午前10時から11時30分まで

2 場所

北部公民館 会議室

3 参加者

（1）特別職等

井崎市長、石原副市長、田中教育長

（2）部局長

須郷総合政策部長、伊藤市民生活部長、早川健康福祉部長、
大島環境部長、秋元子ども家庭部長、石野まちづくり推進部長、
矢幡土木部長、菊池教育総務部長、前川学校教育部長

（3）事務局（秘書広報課）

若林課長、三好係長、竹中主査、須賀主事、小林主事
金子会計年度任用職員、稲村課長補佐（記）

4 来場者数

35名

5 質疑回答

裏面のとおり

Q 市民

オンブズマンとしてお聞きしたいのですが、東深井中学校は建設から50年近く経ちます。

市全体として、これからの小中学校の新築や改築など今後の予定について、10年、20年単位の計画の中に位置づけていると思います。

そうしたことについて、予算面も含めてご報告いただければと思います。

もう一つ、コロナワクチンのことについて、オンブズマンとして県に要求をしてきました。厚生労働省はワクチンを自治体に人数分届けていると話しており、疑問を感じています。65歳未満の方に対する接種の計画があれば教えてください。

A 市（教育総務部長）

昭和40年代から50年代、いわゆる第二次ベビーブーム世代に建設された学校が多くあります。中には建設から半世紀経っているものもある一方で、つくばエクスプレス沿線エリアでは人口が増加し、教室不足の状況が発生しています。

このため、まずは新增設を優先している状況です。

それらが完了次第、既存の学校について、計画的に建て替え等含めて、整備を行っていく必要があると認識しています。

A 市（健康福祉部長）

国はワクチンを自治体に配給していると説明していますが、市として意見を申し上げさせていただきますと、要求通りの配分がなかなかされていないのが実態です。

ワクチンは医療機関に直接届く分もあり、本当に滞留していないのかどうかを国の方でも精査しているとのことなので、この報告を待ちたいと思います。

流山市では、医療機関に配分するものも含めて県を通じて国にワクチンを要求していますが、その5～6割しか配分されていないのが実情です。

ここにきて、国の配分計画が不透明になり、このままでは64歳以下の方の、2回目分までの確保がお約束できないため予約を停止しましたが、7月最終週には、国からまとまったワクチンの配分が期待されますので、その状況を見て、2回分の確保が見込めるようならば、相当人数の予約を再開した

いと考えています。

64歳以下の接種計画の概数としては、個別の医療機関分も合わせて、週6～7000回の接種ができる体制をつくっています。

6月29日から東洋学園大学跡地、生涯大学校、上下水道局の3か所を大規模集団接種会場として、多くの方々を受け入れています。また、今後もキッコーマンアリーナを8月24日付けで追加する予定であり、1週間に7000回を超える接種が可能となります。

最終的には9月28日予定で、東洋学園大学跡地の体育館、中部ではコミュニティプラザを整備することで、週に14000～15000回の接種体制が整います。ワクチンさえ確保できれば、年内に総接種回数30万回が見込めることとなります。

このためにも、国・県にワクチン確保を強く要求しながら、64歳以下の希望する方がスムーズに接種できるよう努めてまいります。

A 市（市長）

現在、全国市長会や全国知事会で、厚労省や内閣府などと、オンライン会議による激しい議論が行われています。

国は4千万回分のワクチンが自治体に在庫あると言っていますが、自治体では、1回目を接種した方の2回目分も確保しながらやっています。国は「自治体に在庫が余っている」と言っていますが、これは打つべき方が決まっている必要な在庫であり、国の考えは間違いであると厳しく指摘しています。

河野大臣は5月8日か9日頃には、ワクチンの供給が減ることを認識していたという報道がされていますが、自治体に対しては、7月末までに65歳以上の方の接種を完了するよう要請があったので、各自治体は6月末から7月中旬くらいまでに、大規模集団接種会場を整備していきしました。

それと同時に職域接種も始まりました。社員、職員、家族までは良いとして、親戚まで対象としていたり、航空会社ではマイレージ会員やクレジット会員などのお客様まで対象にしている状況です。

社会的、経済的な条件により、受けられる方受けられない方で不公平が生じていることは大問題なので、全国知事会や市長会からも、接種の基本となる自治体にしっかりとワクチン供給を行うよう強く要望を出しており、今後も国の対応について注視したいと思います。

Q 市民

ただいまの説明について、学校については、予算面も含めて具体的に数字を述べてください。

また、コロナ対策については、20万人都市となったので、市単独での保健所の設置を要望します。

ワクチン接種の優先順位について、子どもや老人に関係ある方を優先すべきではなかったでしょうか。

A 市（教育総務部長）

学校の新築、老朽化対策に必要な予算額は、設計業務を行ってみないと、正確な数字が明らかになりません。数字だけが独り歩きしてしまうことは避ける必要がありますので、ここでの回答は差し控えさせていただきます。

A 市（健康福祉部長）

ワクチンの優先順位については、資料を通じてご説明したとおり、医療従事者を最優先として4月下旬からスタートしており、続いて65歳以上の高齢者の方を対象として進めるとともに、高齢者施設についても、クラスター防止のため、施設の従事者を含めて5月から優先接種を開始しているところです。

Q 市民

安全安心のまちづくりに感謝するとともに、2点、質問と意見があります。

自分には運転免許がないので、ボランティアとして市内を自転車で走り回っています。

市内の道路状況が悪く、気が付いたところは市に要望し、改善されたところもあり感謝しておりますが、道路標識については、気が付いたところがたくさんあります。いちいち言っているのはキリがないので、市の職員がパトロールや点検をしていただけないでしょうか。

流山市は、職員が少ないことが自慢になっていますが、こういったサービスをする職員の人件費に対する税金は惜しまないと思いますので、お願いしたいです。

もう1点は、指定ゴミ袋の導入についてです。導入について納得した人が少ないのに、10月からは試行が開始され、来年4月からは本格導入の予定

です。個人的には、生ごみ処理機を導入するなどごみを減らす努力をしているのですが、チラシをそのまま可燃ゴミに出している人もいる状況です。

また、ごみ袋の料金は大した金額でないといわれるかもしれませんが、コロナ禍で生活が大変な人もいる中で、指定ゴミ袋の導入は10月からではなく、コロナの収束時に検討してもらいたいと思います。

A 市（土木部長）

道路標識が古くなって見づらいということについてお答えします。

道路標識については警察の所管であるため、市にご意見をいただければ、警察に対応をしていただくよう市からお伝えします。

また、市で設置したものとして、皆さまがよくご覧になっているものとしてはカーブミラーがありますが、市内には約3000基ありますので、どうしても不自由なものがありましたら、職員が確認し、改修手続きを行いますので、お手数ですが積極的に情報提供いただければと思います。市で対応可能なものについては、なるべく早く対応します。

A 市（環境部長）

普段からごみの減量にご努力いただいていますことを、心よりお礼申し上げます。

ご指摘いただいた指定ごみ袋の導入は、処理費用の上乗せをした「有料化」とは違うということについては、ご理解いただきたいと思います。

弱者救済という点については、例えば、紙おむつなどたくさんゴミの出る家庭に支給ができる方法を検討しているところです。

また、生ごみ処理機の補助制度を復活させ、できるだけ家庭ごみを出さないような仕組みづくりについて市が補助できるよう取り組んでまいります。

4回行った住民説明会では、袋のサイズに関するご意見があがりましたが、そのような市民の皆さまからのご意見も取り入れつつ、指定ごみ袋の導入について納得していただけるよう進めていきたいと思っています。

Q 市民

市内の色々な場所のことを、一つ一つ市に情報提供するのは大変なので、市職員がパトロールし、点検や整備をしていただきたいということを要望させていただきます。

指定ごみ袋については、現在、手元にたくさんスーパーのレジ袋がありますが、これが使えなくなると無駄が出てしまうのですが。

A 市（環境部長）

お手元にたくさんあるという袋については、燃やすごみとプラスチックごみ以外では引き続き使用できますので、こちらで使っていただきたいと思います。

Q 市民

コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、マスクの効果が限定的という話があります。マスク自体から感染するケースもあります。

一般的な使用方法では、残念ながら高い効果を望むのは厳しく、デンマークの論文では、マスクあり、なしのグループで、予防効果に有意差がなかったというデータもあります。

厚労省では、感染した人がマスクを使う場合には一定の効果があるとしていますが、絶対感染が予防できるとは言っていません。

そうしたマスクに関する情報を、市として発信して欲しいと思います。また、市としてマスクの着用を強制したりせず、個人の選択として、差別がないようにしてほしいと思います。

A 市（副市長）

タウンミーティングでは、市政に関するご意見やご要望についてお答えをしております。この場合は研究会や審議会ではありませんので、ただ今のお話はご意見として承らせていただきます。

なお、市として、マスクやワクチンを強制している事実はありませんので、そのことだけははっきり申し上げたいと思います。

Q 市民

オンブズマンとして活動をしていますが、本日参加できないオンブズマンの建築業者に代わって発言いたします。

先日、熱海で土砂災害が起きましたが、首都圏では30年以内に70%の確率で大地震が起きるといわれており、2万3000人もの死者が出るという予測もあります。

近年は豪雨で災害が多く発生しております。流山市は江戸川が近くにあるため、ハザードマップでもその危険性が指摘されており、市が指定する65の避難所が被害にあうことも予想されます。

流山では、土建組合という約500人の建築従事者が加入する団体が、被災地に対して支援ボランティアを行っています。こうした方々の努力により、被害が抑えられていますが、近隣市で土建と市が防災協定を結んでいないのは流山市だけです。ぜひ、懇談を行って、どんなことができるかを話し合ってもらいたいと思います。

協定の締結についてどのようにお考えか教えてください。

A 市（市民生活部長）

災害が起きた時に避難していただく場所は、令和2年度末では67か所となっています。

洪水ハザードマップについては、昨年、200年に1度の規模のみならず、1000年に1度の洪水被害まで含めて、新たに作成しました。

防災に関する協定は、各市状況に応じて、対応してもらえる団体や、姉妹都市も含めて、応援協定を結んでいるところです。災害応援協定については、建設業組合など、極力市内の状況をよく把握されている団体と協定を締結しています。

土建組合さんとの情報共有については、窓口として防災危機管理課に話をしておきます。なお、協定の内容については、これから近隣市の情報を整理しながら検討してまいりたいと思います。

Q 市民

昨年に続き、今回で2回目の参加となります。コロナ対策と路上喫煙について質問です。

ワクチン在庫が足りないというお話がありました。自分は妻と予約をしたのですが、私は、1回目は6月末に終わり、2回目は今月29日の予定ですが、妻は2回とも8月の予定になっています。

実際に、接種に行ったときに本当に打てるのでしょうか。病院に行ったときに断られることはないのか不安です。

また、まん延防止措置について、柏市は継続となりましたが、流山市は解除されています。今後についてはどのような見通しでしょうか。

次に、路上喫煙についてです。

法律ができたころ、自分が通っていた九段下では、係の人が見回り、吸っている人に2000円の過料を徴収していました。

今住んでいる江戸川台駅では、以前は見回りの方がいたのですが、最近は見かけません。また、駅周辺では注意書きの掲示がありますが、商店街には掲示していない状況です。

とにかく取り締まりを強化してもらいたいと思います。

A 市（健康福祉部長）

ご予約いただいている方のワクチンは確実に確保できているので、ご安心ください。

まん延防止措置については、県の権限によるものですが、流山市では新規感染者数が増えている状況なので、県と連携を取り、検討・協議していきたいと思います。

A 市（市長）

県と市町村の関係が近くなり、コミュニケーションがとれている状況であり、状況が悪化してくれば、即時見直しを図るという状況にあります。随時、状況を注視しながら対応してまいります。

A 市（環境部長）

路上喫煙については、指導員3名が朝・晩のシフトを組み、重点地区を回っています。どうしても乗降客の多い南流山駅・おおたかの森駅が中心になってしまいましたが、それ以外の地区も適宜回ってまいります。

特定の地区で路上喫煙やポイ捨てがあれば、そこにシフトを変えて指導員を振り向けますので、環境政策課にご意見をお寄せいただければ柔軟に対応してまいります。

Q 市民

つくばエクスプレス開業以降、東武野田線沿線が廃れてしまった印象があります。

また、社会保障費の中で、高齢者の医療費を現役世代が負担している状況で、高齢者との対立関係にあると思うのですが、なんとかならないでしょう

か。

最後に、今年は衆議院議員選挙がありますが、立候補者に市内で演説をやってもらってはいかがでしょうか。

A 市（市長）

まず、東武野田線沿線が廃れていることお話をいただきましたが、東武鉄道では、快速を走らせたり、車両の入れ替えや各駅の改修などが進んでいますし、初石駅については橋上化が進んでいます。

駅の利用者の人数についてもほとんど変わっておりませんので、廃れるということについては、のちほど具体的にお話いただければと思います。私から東武鉄道に伝えられることがあれば伝えたいと思います。

3点目の演説会の件については、衆議院の立候補者を市が呼ぶことはできませんが、青年会議所など第三者的な団体が主催で、演説会を行っております。

国政についても可能かと思いますので、私からこうしたご意見があったということを伝えることは可能です。

A 市（健康福祉部長）

2点目の社会保障費の負担についてお答えします。

高齢になってきますと、持病を抱えている方や持病が悪化する方、また、加齢に伴って心身機能は低下していくので、医療に関わる方が増えてきてまいります。そうした中、市としてできることは、健康づくり、介護予防の支援です。

がん検診や、体力低下の防止への取り組み、啓発事業や健康体操の場づくりなどを市民と行っていくことで、高齢者の方々になるべく医療のお世話にならないようにサポートをすることで、現役世代の医療費の負担も、少しでも軽減できるよう、市として懸命に取り組んでいるところです。

Q 市民

2020オリンピックについて、オランダチームのホストタウンの予算と、その費用対効果について伺います。また、選手のコロナ対策はどのようにやっていますか。

A 市（副市長）

オリンピック・パラリンピック関連で、約５０００万円の予算をいただいておりますが、そのうち約２０００万円が一般財源です。

ただし、コロナの影響によって、来なかったチームもあり、規模を縮小していますので、結果的には費用は縮減できると思います。これから大会が開催されるところなので、費用対効果の検証は、これからきちんと行っていきたいと思います。

オランダはコロナ感染者が少なく、選手も関係者も非常に気を使っており、対策は厳密です。ＰＣＲ検査や、ワクチン接種はもちろんのこと、基本的にはホテルと選手村の往復や、キッコーマンアリーナでの練習は一般の人とは隔離して行っており、感染の懸念はないのではないかと考えています。

また、予定していた地元中学生との交流事業は、オンライン化しました。女子ハンドボールの練習試合だけは、３００名の参加を募りましたが、２階からの観戦とし、１階には下りない形を取り、ご覧いただきます。

いずれにしても、日本国がオランダに約束した大会の一翼を、市として担っているということでご理解いただきたいと思います。

（謝意） 市民

こうした場で、このようにしっかりと回答をいただき、違和感を払拭していただいたことに感謝いたします。

Q 市民

防災関連の資料がいくつかありますが、気になったのは洪水ハザードマップが２０１７年版で古いことです。

更新に関するルールはないのでしょうか？現在、重要視されているので、更新間隔を短くしてはどうでしょうか。また、市民への配布の仕方についても考えてもらいたいと思います。

A 市（市民生活部長）

防災危機管理課で、地震、土砂災害のハザードマップを作成し、土木部で洪水ハザードマップを作成しております。

基本的には、条件が変わった際に更新するというルールで作成しております。洪水ハザードマップは昨年、最新版が出ており、地震ハザードマップに

については、過去と条件は変わっていないのですが、区画整理事業の進捗に合わせて、昨年度新しいものを作成いたしました。

また、配布については、定期的に配布するというルールは決まっておりません。地域限定のもとで、直接伝達をする必要がある場合は、配布する形をとっていますが、全体について大きく条件が変わらない限りは、全戸配布は行っておらず、市ホームページで公開しています。

Q 市民

更新したのであれば、全戸配布を希望します。

A 市（市民生活部長）

今後、検討させていただきます。

Q 市民

新川耕地に物流拠点であるG L Pができてから、通勤する人が増えており、駅前からバスが出ていますが、満員となっているのが見受けられます。また、自転車で通っている人もいます。

八街市の事件もあり、何か事故が発生してからでは遅いと思うので、周辺への横断歩道の新設や道路拡張の予定についてお聞きしたいです。初石駅前ロータリーも改善が必要だと思います。

また、先日は不法投棄に対して市で対応してもらいました。冷蔵庫、洗濯機、テレビ、クーラーなどの白物家電についても、車などと同じように、リサイクル料金を上乗せするよう国に要望してはどうでしょうか。

A 市（土木部長）

G L P周辺の道路拡張については、今のところは予定ないのですが、各物流施設の完成時の交通量については、これから検討に入るかと思います。市内で渋滞が起きやすい場所も把握していますので、今後の課題としてまいります。

初石駅前については、想定になかった大型バスが通ることにより傷んでおり、至急対応致します。ただし橋上化の工事が控えているため、あくまで応急処置ということでご理解を頂きたいと思います。

A 市（環境部長）

白物家電のリサイクル料金の上乗せについては、市単独でできるものではありませんが、国・県との協議の場がございます。

今回の件は、写真を拝見する限り、一般の方ではなく業者による不法投棄と思われますので、新たに制度設計が必要と考えております。

引き続き意見交換をさせてもらいたいと思います。

Q 市民

江戸川台駅前をもっと活性化したいと思っているのですが、東口の駅前にある大きな団地が最大の障害となっていると思うのですが、今後どのようなのでしょうか？

A 市（まちづくり推進部長）

江戸川台東口の旧ジェットロ社宅跡地は、昨年、市で取得いたしました。

江戸川台駅東口駅前広場は狭くなっており、特に雨の日などには渋滞が発生しています。また、公共施設の点在や老朽化に加え、バリアフリーの観点の課題があります。商店街の施設も老朽化している状況です。

今年度は、地元の意見を伺い、どのように対応していけばいいのか方針を決定してまいります。地元の方々のご意見や、利用者のご意見を伺いながら、しっかりと進めていきたいと思っています。

Q 市民

1点指摘と1点要望です。

1点目は洪水ハザードマップについてです。2016年に、愛知県の方でアンダーパスのところでお亡くなりになった方がいました。

木地区でも、2017年のハザードマップには反映されたのですが、南流山駅ガード下の看板が小さく目立たないですし、武蔵野線には長いアンダーパスがあるのですが、何も看板などの警告の表示がありません。以前から伝えているのですが、対応されておられません。至急、対応をお願いします。

2点目は、社会福祉協議会についてです。南流山社会福祉協議会の会長をやっているのですが、例年活動費補助金は例年、5月に振り込まれていたのですが、去年は7月になりました。

今年は5月に申請し、各地区社協には前年度決算書の提出が求められ、予

算書の配布がありませんでした。市社協からは、コロナの影響という説明がありましたが、おかしいのではないかと思います。

社会福祉協議会を市の天下り先にしないでもらいたいと思います。こちらについては要望とさせていただきます。

A 市（市民生活部長）

南流山のアンダーパスの表示の件については、至急、現場を確認し対応してまいります。

Q 市民

おおたかの森周辺の人口過密が進んでいて、公共サービスの水準が低くなるところが見られます。

児童数１０００人超が４校あり、すでに適正とは言えないレベルです。

平成２９年当時の説明会で、児童数の予測がありました。当時、おおたかの森小学校は１３５６人という予測に対し、現在は１５１２人、小山小学校は１４８３人の予測に対し、現在は１５９７人ということで、予測を上回っている状況です。

今後、少人数学級を進めるとなると、より不適正な状況になっていくと思われる。

子育て世代としては、適正な人数での教育環境を整えていただきたいと切に願います。

A 市（学校教育部長）

市では、６年間、推計値、想定値を出しているのですが、転出入の人口が読みにくいことに加え、合計特殊出生率が高くなっていることが上振れの要因となっています。

１０００人を超える学校がございますが、教室単位で３５人にするということはしっかりと継続しながら、教職員も配置することで、授業での格差が生まれないようにしていきたいと考えています。

ただし、グラウンドやプールなど、施設面では差が出てしまうので、過大規模校については、工夫をしながら、格差が生まれないように対応してまいりたいと思います。

Q 市民

マンション建設予定について、市の意向が反映されるのであれば、人数も増えてきているので、うまく対応してもらいたいと思います。

A 市（市長）

大規模なマンションとしては、スターツおおたかの森ホール北側の800戸ほどのマンションが最後になると思います。小さなマンションは立つかもしれませんが、敷地の関係から大規模なマンションがさらにできるということとは想定していません。

Q 市民

第1種低層住居専用地域にコンビニが計画されています。流山市ではじめての例になるはずです。近くにコンビニも商店もあるのですが、そこに建てられることになりそうです。市の建築住宅課には申請が来ていないようですが、住民との事前協議では一向に意見が反映されず、建設許可が下りてしまうのではないかと考えています。

昨年度、市で開催された建築審査会は3回とも書面審査となっています。審査会で通らなかったものは今までないと思われるのですが、だからといってやらなくても同じだというわけではなく、柏市では5回開催し、そのうち1回だけは書面審査でしたが、残りの4回はしっかりと対面で開催されています。

条件的に、中には審査もいらないようなものもあると思いますが、住居専用地域に24時間のコンビニをつくるということなので、ぜひ対面での審査会をしっかりと実施してほしいと思います。

A 市（まちづくり推進部長）

コンビニの新築計画については市にも相談が寄せられており、ご心配されている方がいらっしゃることを承知しております。

審査会については、学識経験者の先生のご都合などもあり書面開催となりましたが、現在、開催できるよう調整をしているところです。

コロナの影響もありますが、なるべく書面ではなく、対面で開催したいと考えていますので、今回のご要望はしっかりと受け止めさせていただきます。

Q 市民

同じ時期に、柏市は対面で開催できたのに、流山市はなぜ書面開催だったのでしょうか。できないはずはないと思います。できないのだったら中止するなども考えてもらいたいと思います。

A 市（まちづくり推進部長）

学識経験者の方の所属である学校の方針やルールもありますが、例えば、対面とオンラインの組み合わせなど、工夫していきたいと思います。

Q 市民

江戸川台はとても住みやすいまちになっていると思います。夏祭りでは子どもたちも声をかけあって参加し、にぎわっていました。

ジェットロ跡地の活用については、若者たちが創業の夢を実現できる、お店を持てるようなものを提供してもらいたいと思います。

A 市（市長）

ジェットロ跡地については、今の空き店舗も含めて、若い方が企業をしたり、シェアオフィスのような形にするなど様々な形での活用方法が予想されるので、ご要望を頂きながら柔軟に検討していきたいと思います。